

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成28年6月16日(2016.6.16)

【公開番号】特開2014-215430(P2014-215430A)

【公開日】平成26年11月17日(2014.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-063

【出願番号】特願2013-92116(P2013-92116)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

B 6 5 H 7/02 (2006.01)

B 6 5 H 5/06 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/20 5 3 5

G 0 3 G 21/00 3 7 0

B 6 5 H 7/02

B 6 5 H 5/06 J

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月22日(2016.4.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

本発明は、画像形成装置において、画像形成手段で形成されたトナー像をシートに転写する転写手段と、前記転写手段により転写されたトナー像をシートに定着させる定着手段と、前記転写手段と前記定着手段の間のシート搬送路と、前記シート搬送路のシート搬送方向と直交する幅方向の中央部に配置され、前記転写手段と前記定着手段の間で生じたシートのループを検知するための第1検知手段と、前記シート搬送路の幅方向の一側に配置され、シートのループを検知するための第2検知手段と、前記シート搬送路の幅方向の他側に配置され、シートのループを検知するための第3検知手段と、シートのループ量を所定範囲内に維持するように前記定着手段のシート搬送速度を制御する制御手段と、を備え、前記制御手段は、前記第2検知手段及び前記第3検知手段からの信号が同じ信号の場合には、前記第1検知手段からの信号に基づき前記定着手段のシート搬送速度を調整し、前記第2検知手段及び前記第3検知手段からの信号が異なる場合には、前記第2検知手段及び前記第3検知手段からの信号に拘らず前記定着手段のシート搬送速度を所定のシート搬送速度に設定することを特徴とするものである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像形成手段で形成されたトナー像をシートに転写する転写手段と、前記転写手段により転写されたトナー像をシートに定着させる定着手段と、前記転写手段と前記定着手段の間のシート搬送路と、

前記シート搬送路のシート搬送方向と直交する幅方向の中央部に配置され、前記転写手段と前記定着手段の間で生じたシートのループを検知するための第1検知手段と、

前記シート搬送路の幅方向の一側に配置され、シートのループを検知するための第2検知手段と、

前記シート搬送路の幅方向の他側に配置され、シートのループを検知するための第3検知手段と、

シートのループ量を所定範囲内に維持するように前記定着手段のシート搬送速度を制御する制御手段と、を備え、

前記制御手段は、前記第2検知手段及び前記第3検知手段からの信号が同じ信号の場合には、前記第1検知手段からの信号に基づき前記定着手段のシート搬送速度を調整し、前記第2検知手段及び前記第3検知手段からの信号が異なる場合には、前記第2検知手段及び前記第3検知手段からの信号に拘らず前記定着手段のシート搬送速度を所定のシート搬送速度に設定することを特徴とする画像形成装置。

#### 【請求項2】

前記制御手段は、前記第2検知手段及び前記第3検知手段からの信号が異なる状態が所定時間継続した場合に、前記定着手段のシート搬送速度を前記所定のシート搬送速度に切り換えることを特徴とする請求項1記載の画像形成装置。

#### 【請求項3】

前記所定のシート搬送速度は、ループを増大させる時に設定する第1シート搬送速度と、ループを減少させる時に設定する第2シート搬送速度の中間の速度であることを特徴とする請求項1又は2記載の画像形成装置。

#### 【請求項4】

前記第2検知手段及び前記第3検知手段を、前記第1検知手段よりもシート搬送方向上流に配置したことを特徴とする請求項1乃至3の何れか1項に記載の画像形成装置。